

高梁川 流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



かつやく とし
活躍した年:

1861~1897年



かつやく ぶんや
活躍した分野:

ほん やく か
翻訳家



ゆかりのある場所:

- もり た しけん の ほか
・森田思軒墓
- かさおか しりつ としよかん
・笠岡市立図書館
- もり た しけん けんしやう
「森田思軒顕彰コーナー」
- もり た しけん せい か あと ち せき ひ
・森田思軒生家跡地石碑



もりた

森田

しけん

思軒

新高 高総 早倉 矢井 浅里
見梁 社島 敷掛 原口 庄
市市 市市 町市 町市 市町

笠岡市



もりた しけん ぶんきゆうがん ねん いま かさおか し かがおかにしほんまち う
森田思軒は、文久元（1861）年、今の笠岡市笠岡西本町に生まれました。

けいおう ぎじゆく えいご いばら こうじやうかん かんし ぶん まな
慶應義塾で英語を、井原の興讓館で漢詩文を学びました。

ごじやうきやう や のりゆうけい うんえい ゆうびんほう ち しんぶんしゃ にゆうしゃ ぶんびつ か しんぶん きしゃ かつ
その後上京し、矢野龍溪が運営する郵便報知新聞社に入社し、文筆家、新聞記者として活躍しましたが、とくに翻訳家・批評家として有名で、徳富蘇峰が運営する「国民之友」にも論文・翻訳小説を寄稿しました。

ほんやく だいひやうてき さくひん げんさく たんてい しけいまえ ろくじ かん
翻訳の代表的な作品に、ヴィクトル・ユゴー原作の『探偵ユーベル』『死刑前の六時間』、ジュール・ベルヌ原作の『十五少年』（十五少年漂流記）などがあります。

せいようぶんがく みりよく ひろ しょうかい ほんやくぶん ぶんがくさくひん たか
西洋文学のおもしろさや魅力を広く紹介し、翻訳文を文学作品にまで高めるきっかけとなりました。岡倉天心、森鷗外、幸田露伴らとも親交がありました。

めいじ ねん さい ちょう はっしょう な どうきやうとたいとう く ね ぎし
明治30（1897）年、36才で、腸チフスを発症して亡くなり、東京都台東区根岸の世尊寺に葬られましたが、笠岡の小丸（笠岡小学校裏手）の墓地にも分骨して墓がつくられました。

しょうがい おお さくひん はっびやう しけん ほんやくおう
生涯にわたり多くの作品を発表した思軒は、「翻訳王」ともよばれました。